

浪速区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第16号

令和8年3月発行

浪速区制100周年 浪速区ガレージセールを開催しました

令和8年3月15日（日）大阪祭典なにわ区民ホール（浪速区民センター）において、「浪速区制100周年 浪速区ガレージセール」を開催しました。当日は晴天と天候にも恵まれ、昨年度より多くの方がご来場いただき、リユース品の買い物や、リサイクル工作教室で葉っぱやハギレを使った作品づくりを楽しまれました。ガレージセールは、物を大切に使う「リユース」を身近に体験していただくことで、ごみの減量に対する意識を高めるきっかけとなる有意義な取り組みです。今後も、浪速区廃棄物減量等推進員（ごみゼロリーダー）の皆さまとともに、ごみ減量・3Rの取り組みを推進してまいりますので、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。今回のガレージセール開催にご従事いただいたごみゼロリーダーの皆さま、お疲れさまでした。



たくさんの来場者でにぎわう会場



アンケートとフードドライブ受付窓口の様子



当日ご従事いただいたごみゼロリーダーの皆さま

浪速区・中央区 廃棄物減量等推進員施設見学会を開催

～ 選別作業を見学し、家庭でのごみ分別の大切さを実感 ～

令和8年1月27日（火）兵庫県西宮市の「株式会社 エフピコ 西宮選別センター」において、浪速区・中央区の廃棄物減量等推進員区代表および連合代表を対象とした施設見学会を開催しました。

当日は数年ぶりの寒波で非常に寒かったものの雲一つない快晴で、天候に恵まれた中での見学会となりました。

はじめに（株）エフピコの後谷氏から事業概要と施設説明を受けた後、施設内の見学がスタート。

西宮選別センターには、関西一円のスーパーマーケット店頭で回収BOXからプラスチック製食品容器が集まってきます。

そのうち「発泡スチロール製の食品トレー」は作業員の手作業で再生できないトレーを取り除いた後、白色と柄付きに選別して圧縮します。

「透明容器」は近赤外線を使って3種の素材毎に識別・分類してから圧縮します。

「ペットボトル」はラベルを剥離し、比重を使って素材毎に選別した後、手選別で異物を取り除いてから圧縮します。

圧縮されたものは西宮選別センターから広島県の福山リサイクル工場へ送られ、食品トレーなどの製品に生まれ変わり、再び市場に流通していきます。

実際に各工程を見学して、汚れたり異物が入ってるなど、リサイクルに適さないものが混ざっていて、人の手でそれを取り除いていることに驚きました。リサイクルの上流である各家庭でゴミを分別すること、汚れは簡単に洗って落とすことがどれだけ大事か実感しました。

見学終了後、廃棄物減量等推進員の皆さまからエフピコ後谷氏に選別の際に困ってることや分別する際に注意すべきことなどについて質問が出るなど、家庭でのゴミの分別について改めて考えていただくことができ、大変有意義な見学会となりました。



会議室で説明を受ける様子



圧縮作業を見学



参加された廃棄物減量等推進員の皆さま

《編集・発行》

大阪市環境局 中部環境事業センター出張所

大阪市浪速区塩草2-1-1

TEL : 06-6567-0750 FAX : 06-6567-0721

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

